

東京都北部支部定時総会を終えて

小林 太



明治大学校友会東京都北部支部の定時総会が、6月4日(土)にコール田無にて開催されました。東京都北部支部は、練馬区・板橋区・北区・豊島区・文京区・荒川区、そして我が西東京市の各地域支部で構成されています。総会は毎年各地域支部が持ち回りで開催することになっており、今年は西東京地域支部の担当となりました。

しかし、いかんせん西東京市内には、開催に見合う大きな公共施設やホテルがありません。そんな中でも「どうしても地元で開催したい！」…ということから、コロナ禍での制約があったもののコール田無で開催するということになりました。



どの地域支部もそれぞれの自治体で大きな施設を持っていますが、「それに負けない様な会に！」ということで気合が入りました！

遠路はるばるお越しになる校友のために、明治大学の幟旗～通称「桃太郎旗」～を持って、①田無駅改札口横、②駅北口、③銀行前の踏切傍、そして④道を下った曲がり角の4箇所、ご出席の皆さんをお迎えしました。そしてコール田無の玄関では、水井相談役や安松顧問、濱田支部長が皆さんをお出迎えです。



御多分に漏れず、この北部支部定時総会も、コロナ禍で実際に会場での対面形式は実に三年ぶりとの事。今回も昨年に引き続き、総会の模様をコール田無の会場からインターネットを介してリモート参加の皆さまへお届けしました。



こういったハイブリッド形式での試みは、北部支部でも初めてのことでした。

今回の総会参加者は我が西東京市地域支部の19名を含めて58名。リモート参加者16名を含めると70名超の総会となりました。このハイブリッド形式での試みは、今後行われる様々なイベント開催方法のモデルケースとなるに違いありません。



三森 勳 支部長



川部修典 幹事長



高橋善也会計幹事 濱田憲孝会計幹事

総会は、先ず開催地を代表して濱田西東京市地域支部長の開会挨拶から始まり、三森北部支部長の挨拶後、本題の議事に入りました。

議事では各地域支部の昨年度活動報告や今年度の事業計画が川部幹事長から報告がありました。続いて会計報告と今年度予算案が濱田会計幹事からなされ、そして監査報告が柴田監査委員から発表されました。

そして、全ての議案が賛成多数で原案通り承認されました。特にリモート参加者の、恰も（あたかも）会場にいるかのような早い反応には、現場の広報担当委員の多大なご尽力に感謝しながら、ハイブリッド導入の甲斐があったと感慨一入でした。



司会の小林達史企画委員



明治大学校友会 松本 穰 副会長



明治大学 尾島育四郎 理事

その後、ご来賓の挨拶が続きます。校友会を代表して松本副会長、大学を代表して尾島理事、そして北部支部地域の父母会を代表して高木会長から熱いご挨拶を頂きました。大変面白い、興味深い熱弁で、予定した時間はあっという間に消えて行きます！

コール田無の借用時間もじりじりと迫ってきて、会場運営の裏方さんはヤキモキしますが、どうすることもできません。直近で決まった、明大祭実行委員の学生さんの明大祭宣伝とお願いを兼ねた三分間スピーチも登場。

最後の締めは、次回開催担当の板橋を代表して高木板橋区地域支部長が閉会の辞！若干タイムオーバーとなりましたが、無事総会を終えることができました。

地下のホールだから、締めはやっぱり校歌かな…でもタイムオーバーでは諦めざるを得ません。来年にお預けです。致し方ありませんね！来年こそは！…（笑）



今回の総会では、開催地・西東京市の出席会員から多大なるお手伝いを頂きました。朝早くから集って幟旗を組み立てたり、道案内の現場差配をしたり、会場受付などの設営準備、力仕事、撤収の後片付けと、真新しい紫紺のブルゾンの19名が輝いて見えました。

会場の予約に始って、小さな西東京市地域支部としては総会開催に100%の助力をしました。これ無くして、総会の円滑な開催は不可能であったと言っても過言ではありません。

西東京市地域支部総会、そして北部支部総会のホスト…、私も日常の仕事と相まって怒涛の日々でしたが、実に貴重な経験を得た令和4年の春でした。

尚、今年の明大祭は完全な対面式で10月28～30日に和泉校舎(京王線明大前駅下車)にて行われるそうです。学園祭の盛会も期待しましょう！